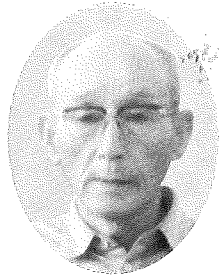


古賀朋吉

明治四十五年（平成九年）（一九二二—一九九七）技能士（石工）



久保田町徳万（町西）古賀常吉の長男として出生。家業である石材加工業を継ぐ。生来、造形意欲に富み石材彫刻の研究に没頭し、師匠を求めて相知の石屋、遠くは山口県まで訪れ技能の修練を積んだ。作品の主なもの、仏像で、不動明王・観世音菩薩・地藏尊等で、町内に残されている作品の一つに、太郎次郎社の西消防倉庫前の六地藏がある。代表的な像は、東松浦郡北波多村岸獄にある、法安寺の釈迦の涅槃像である。宗教心に厚く齋戒沐浴して彫像に取り組んだ。

昭和二十七年五月、岸獄城址西八カ所の開設に当たり、仏像彫刻に精進した功績に対し、真言宗管長より「栴舟」の称号と、表彰状が贈られた。同年十一月、日蓮上人開宗七〇〇年慶賀記念事業に宗祖の石像に専念した功績に対し、観照院権僧正より表彰を受ける。第二四回建築士会全国大会では、伝統文化の発展に寄与した功績を称え、日本建築士会連合会より表彰を受けた。販路は県内から鹿児島・広島までに及んだ。享年八四歳

※ 久保田町史の人物編については、調査研究・資料収集など不十分で、これ以外の方についても取り上げるべき人材が多かったことと推察されます。限られたページで他の方々は割愛させていただきましたことを深くお詫びいたします。

十 久保田町の将来像

久保田町は、佐賀平野の中央に位置し、恵まれた立地条件と自然環境のもとで、農業を主産業として自然と人の生活が調和した、美しい町として発展を遂げてきた。この水と緑に囲まれた豊かな自然環境を育みながら二一世紀を、いきがいを感ぜ、心から住んで良かったと思えるような、久保田町ならではの個性的な町づくりを展開していかなければならない。

近年、情報化、高齢化、国際化、都市化等、社会情勢は大きく変動している。特に今日的な重要課題として個人や国の安全保障の問題や世界的経済不況の問題がクローズアップされてきた。このような厳しい変動のなかで、久保田町民の英知を結集し、強固な連帯意識と温もりのある豊かな心で、田園文化都市としての未来の創造に向かいビジョンを展開し、町の活性化を進めるため、平成八年三月第四次久保田町総合計画を策定した。

本町が目指す将来像『太陽とみどりの町』に向け、自然や歴史・文化を大切にし、活力に満ちた魅力ある産業の振興、健康でやすらぎと思いやりあふれる福祉の町、心豊かな知性と創造性を育む教育の振興など、各般にわたり二一世紀にはばたく久保田町の実現を進めたい。

第四次総合計画の目標年次である平成十七年までの一〇年間の計画期間になすべき政策を示すに当たり、本町が有する自然・歴史・社会・経済的諸条件を生かし、県が推進している『住みたい県日本一』と相まって、将来

の町の姿を次のように描く。

一 活気に満ちた安らぎと明るい住みたい町

快適で潤いと活力ある美しい町

自然と清流と緑あふれる、安らぎのある町

歴史と伝統を重んじるふるさとづくりの町

二 産業の盛んな魅力と活力のある町

魅力とやりがいのある、生産性の高い農業の町

協業化によるコスト低減とブランド化した良質で安定した漁業の盛んな町

商業の活性化、経営体質の強化を図り、地場産業の育成と企業誘致による

活力ある商工業の町

三 健康で心安らぐ、思いやりのある福祉の町

健康づくりの推進に取り組む町

疾病の予防を推進する町

健康で元気な高齢者の社会参加による生きがいのある町

弱者への思いやりのある福祉の町

四 生涯学習を充実し、知性・創造性・豊かな心を育む教育の町

健康で知性と創造性に富み、豊かな人間性と実践力あふれる学校教育の町



住民の多様な学習要求に適切に応える生涯学習の町

家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成推進の町

スポーツ・レクリエーションで健康で心豊かな町

この総合計画を実現させるためには、町民自身の自治意識の浸透と充実が基本であり、官民一体となった町づくりへ取り組む意欲の盛り上げを期待したい。